Zone A1 A2 学校/インクルーシブ

21 世紀の学びを実践する教師の学習コミュニティを培う
ー多様な子どもたちの学びと育ちを支える学校の在り方を探るー

Zone A は、これまで「専門職の学び合うコミュニティ（Professional Learning Communities)」を培う学校改革の在り方を検討してきました。その中で「21 世紀の学びを実践する教師の学習コミュニティを培う」というテーマを掲げ、学校が持続発展していくための教師協働の在り方について議論を積み重ねてきました。特に、学習コミュニティの学びを深めていくためには対話の質を高めることが重要であることについて注目してきました。一方、Zone F は「多様な子どもたちの学びと育ちを支えるコミュニティを培う」というテーマで、すべての子どもがあるがままの存在として生き育つことのできる教育について検討を始めました。二つの Zone の視点は、教育・保育を考える上で極めて重要だと言えます。

そこで、実践研究福井ラウンドテーブル 2021 Summer Sessions では、Zone A と Zone F の取り組みを融合して検討します。具体的には、一人ひとりの子が個性や能力を発揮し、学び合い育ち合う学校を実現するには「主体的・対話的で深い学び」をどうデザインすればよいのか、そのために教職員が協働していく組織をいかに構築していくのかについて、参加者のみなさまと共に協働探究していきます。

Connection	12:00-13:00	接続
Orientation	13:00-13:10	オリエンテーション
Session Ⅰ	13:10-15:10	*Webinar Symposiums* 「多様な子どもたちの学びと育ちを支える学校づくり」

＜シンポジウム＞

13:10-15:10

＜シンポジスト＞

13:10-13:30	長野県佐久市立佐久平浅間小学校	教 諭	松元 可南子 先生
13:30-13:50	福井県小浜市教育委員会	企画主査	小坂 恵 先生
13:50-14:20	福井県立南越特別支援学校	教 諭	山下 久美子 先生
	福井県立武生高等学校	教 諭	小林 就彰 先生

全体討議 14:20-15:10

＜コーディネーター＞
福井大学連合教職大学院 准教授 宮下 正史

＜休憩＞
15:10-15:30

Session Ⅱ	15:30-17:00	*Webinar Breakout Room*
現状共有と明日への展望		Session Ⅰ の議論に基づき、参加者それぞれの学校づくりの長い実践を共有し、新たな出会いと協働を編み込んでいきます。校種等をクロスした小グループ形式での対話を編み込み、実践をデザインし、展望を生み出します。
Cross-session		

Zone B　教師教育

働き方改革と学び合う学校づくり
ー組織・コミュニティ・カリキュラムのマネジメントー

今日の学校教育には、これからの変化の激しい時代において持続可能な社会の担い手となる子どもたちの資質・能力を育むため、主体的・対話的で深い学びの実現など、教育の質的転換・向上が求められています。また、教員の大量退職に伴い、若い世代の教員を支え育てる組織づくりも必要とされるなど、学校は大きな変革のなかにあります。他方で、働き方改革も急務とされています。こうした状況のなかで教育に携わる者の多くは、教育の質的向上と働き方改革とは一方を推進すれば他方が停滞するというディレンマに悩まされているのではないでしょうか。

Zone B「教師教育」では、現状を克服し、教育の質的向上と働き方改革との両立を目指して、自治体における具体的な事例なども踏まえながら、行事の精選や教員の会議の削減などに止まらず、働き方改革を実現しつつ教育の質的向上を図るためのカリキュラムマネジメントや教師が学び合うコミュニティとしての学校のあり方について展望を拓いていきます。

コロナ禍が学校に様々な困難と同時に変化の機会をもたらしています。学校という組織のニューノーマルを探り、協働する組織、学び合う組織としての学校づくりが進んでいますが、今回の Zone B では、そうした新しい学校の姿を思い描きつつ、さらなる教育の質的向上と働き方改革との両立について、多様な実践を共有し、共に考えていきたいと思います。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

なお、今回もオンライン会議システム（Zoom）を用いて実施します。

Orientation　13:00-13:10

Session Ⅰ　13:10-15:20　Symposium

＜話題提供＞

福井県教育庁教職員課長　竹澤 宏保

＜実践報告＞

福井県勝山市立鹿谷小学校長　北川 喜樹

東京都千代田区立麹町中学校教諭　羽生 裕美

福井県立高志高等学校長　吉田 繁

＜進行＞

福井大学連合教職大学院教授　淵本 幸嗣

（敬称略）

新しい学校の姿から、教育の質的向上や人材育成と働き方改革との両立を目指した実践を共有します。

Session Ⅱ　15:20-17:00　Forums

実践報告を踏まえ、参加者それぞれが今後の実践にどのように生かすことができるか、小グループで協議します。

Zone C　コミュニティ

持続可能なコミュニティをコーディネートする
―コロナ禍において学びをつなぐ―

前々回（2020 年 6 月）、Zone C では「コロナ禍状況におけるコミュニティの学びの展望を拓く」というテーマに取り組みました。当時は、コロナ禍という状況が私たちにどのような影響をもたらしているのかさえ明確に捉えきれていない状況でした。そのとき、初めてオンラインで開催し、これまで以上にたくさんの地域の方にご参加いただくなか、お互いが抱えている悩みや不安に耳を傾け、この状況にあっても実践を展開させる具体的な知恵を共有し合いました。その後もコロナの影響は収まらず、多くのコミュニティでの活動が、計画の変更や延期、中止を余儀なくされ、コミュニティの持続可能性が脅かされています。そうしたなかであっても、仲間とつながり合い実践を生み出すことを諦めないために、前回（2021 年 2 月）では、「コロナ禍において学びをつなぐ」というテーマで、今、私たちにはどのような学び合いが求められているのかについて考えました。そこでは、これまで私たちの社会がすでに抱えていた課題 － 都市一極集中の限界と地域の過疎化、高齢者の孤立化、外国籍住民の孤立化、ジェンダー差別等 － が深刻化している現実に目を向けながら、それらを乗り越えようとする地域の取り組みや、この困難な状況であっても紡がれているコミュニティの実践から学び合いました。それは、あらためて自分たちのコミュニティの存在意義や活動の意味を問い直す機会ともなりました。

今回は前回のテーマを引継ぎながら、さらに問いを深めるために、次の 3 つの視点からコロナ禍における学びのつながりを考えたいと思います。

〇コミュニティの学びをつなぐための実践
〇世代やコミュニティを超えた学びの実践
〇そうした実践を支えるためのコーディネーター自身の協働の学びの実践

実践に学ぶことを通じ、コロナ禍前の状況にコミュニティを戻すことをめざすのではなく、むしろより豊かなつながりを築いていくために、参加者の皆さんと共に考え合いたいと思います。

13：00～13：15　主旨説明
13：15～13：30　自己紹介セッション
13：30～15：00　Session Ⅰ　※小グループおよび全体セッションをはさみます
中山間地域の現状と課題・国際地域学部での PBL 活動・上味見地区での活動報告
話題提供：福井大学国際地域学部　伊藤勇 氏・片山留菜 氏
コーディネーター：福井大学連合教職大学院　天方和也 氏

15：30～17：00　Session Ⅱ　※小グループおよび全体セッションをはさみます
生徒と地域の方が目指す学校像を語り合うコミュニティ協議会の実践
－新しい地域のまつりの創造『灯籠プロジェクト』－
話題提供：新潟市立葛塚中学校　上村慎吾 氏
コーディネーター：福井大学連合教職大学院　大橋巌 氏
［全体ファシリテーター］：福井大学連合教職大学院　冨永良史 氏

Zone D International

International Initiatives on Teacher Education Reform: Different Approaches to 'Reflective Lesson Study'

The Sustainable Development Goals (SDGs) to be achieved by 2030 is to provide inclusive, equitable and quality education to all people and to promote lifelong learning opportunities. The importance of teacher education has been emphasized as one of the targets. In 2016, the United Graduate School of Teachers' Professional Development, University of Fukui was commissioned to conduct JICA Knowledge Co-Creation Program on Lesson Study, and since then, we have continuously accepted requests for teacher training from Singapore, Thailand, Egypt, and Saudi Arabia. Given the above background, at the Fukui February roundtable in 2021, we launched Zone D International to provide a forum for collaborative reflection on practices and future prospects for teacher education reform overseas.

At the roundtable in February 2021, past trainees of JICA Knowledge Co-Creation Program on Lesson Study in Malawi, Uganda, and Ghana took the stage as symposiasts to share their experiences and challenges in establishing reflective lesson study in their respective contexts. On the other hand, we realized it is crucial to work on it from a long-term perspective through practice and reflection.

Therefore, we will focus on the Nalikule College of Education and its demonstration school in the Republic of Malawi and follow the process of their reflective lesson study. A total of eight trainees from the Republic of Malawi participated in JICA Knowledge Co-Creation Program on Lesson Study in Fukui, and follow-ups were conducted in 2017, 2018, and 2019. In this symposium, the panelists will discuss the approaches, results, and challenges of lesson study at Nalikule College of Education and its demonstration school, and the participants will share and learn from each other's practices in small group discussions. This session will be conducted in English.

今回はマラウイ共和国のナリクレ教員養成大学及びその附属学校に着目し、省察的授業研究の取り組みの過程を追っていくことにします。マラウイ共和国からは、これまでに JICA 課題別研修として合計 8 名の研修員を受け入れており、また 2017 年、2018 年、2019 年にフォローアップを実施してきました。さらに、2020 年 2 月にはナリクレ教員養成大学と大学間協定を締結しています。今回のシンポジウムでは、ナリクレ教員養成大学及び附属学校における授業研究の取り組みや成果、課題等について話題を提供して頂き、参加者がそれぞれの校種や領域で具体的に実践を捉え直していきます。なお、本セッションは全て英語で実施します。

***Session* Ⅰ**	1500-1600	*Symposiums* Lesson Study in Nalikule College of Education and Its Demonstration School
＜Panelist＞		Nalikule College of Education
＜Coordinator＞		(TBD)
***Session* Ⅱ**	16:00-17:30	*Forums* Sharing and learning from each other's practices

Zone E　福井大学連合教職大学院　実践研究福井ラウンドテーブル 2021 VIRTUAL SUMMER SESSIONS

ご案内

2021年6月19日（土）

世代をこえてこれからの教育を考えるバーチャル・セッション

「学びと教えのあたらしいすがたカタチをみんなでかんがえよう」

このたび、見出しのセッションをオンラインで開催します。子どもたちと若者たちと大人たちの学びあう関係にもとづいて、学びと教えのあたらしいすがたカタチについて、みんなでトークしながらかんがえていきます。たくさんの子どもたちと若者たちと大人たちにご参加いただき、みんなの想いをいっしょに奏でて、それぞれの「学びと教えのニューノーマル」を描いていきたいと思います。

（1）2021年6月19日（土）のスケジュール

12:00-12:50　**Zoom 接続**

13:00-13:10　**オープニング**

13:10-14:30　**おしゃべりカフェ　+「ぐ～たら選手権」　　ゲスト　みんな**

- 子どもたち・若者たちがおこなっている遊びや学びや探究を小さなグループの中で紹介してもらい、たのしくおしゃべりします。「ぐ～たら選手権」つき。当日をおたのしみに^^
- 遊びや学びや探究をくわしく紹介してくれる子どもたち・若者たちの個人／チームを大募集しています。

14:40-16:00　**トークSHOW!　　司会　前田たけし先生　　ゲスト　小中高生・大学生**

- 「じゅぎょう・しゅくだい・せんせい・がっこう」をテーマに、小中高生・大学生とたのしくフリートーク（おはなし）をして、学びと教えのあたらしいすがたカタチについてかんがえてみます。

16:20-17:20　**リトルトークSHOW!　　ゲスト　みんな**

- トーク SHOW のフリートーク（おはなし）をきいてかんがえたこと・かんじたことを、小さなグループの中で紹介しあおう。
- 「明日からやってみたいこと・変えてみたいこと」をかんがえてはなしてみよう。

（2）参加申込方法

下の URL・QR コード先のフォームから参加申込を 6/15（火）までにお願いします。
参加申込フォームでは、５月・６月のプレセッション（準備会議）への参加もお尋ねしています。
子どもさんは、先生や保護者（親）に参加申込をおねがいしてもだいじょうぶです。

https://forms.gle/KA5CMzeH1VSS8QZp7

お問い合わせ先
福井大学連合教職大学院教授　木村　優
E-mail: u-kimura@u-fukui.ac.jp